

第 8 期（2024 年度）第 4 回創発セミナー報告 第 8 期研究助成贈呈式

大隅基礎科学創成財団は 2024 年 12 月 23 日午後 3 時から東京科学大学すずかけ台キャンパスで第 8 期研究助成贈呈式を行いました。基礎科学（一般）分野 6 人、同酵母分野 3 人の計 9 人の研究者に大隅良典理事長から贈呈書が手渡されました。



大隅基礎科学創成財団 第 8 期 研究助成贈呈式

東京科学大学すずかけ台キャンパス会場にて

午後 4 時からはハイブリッド形式で創発セミナーを開催しました。冒頭、大隅理事長が寄付により財団の活動を支えてくれている多くの個人、企業、団体に謝辞を述べ、研究助成者に対しては「基礎研究を標ぼうすることが難しい状況ではあるが、この助成を励みに基礎研究の意義を知らしめる研究を発展させてほしい」と挨拶をしました。

続いて、基礎科学（一般）の吉田賢右選考委員長が「基礎科学一般分野には 170 件もの応募があり、絞るのが難しかったが、その中から熱意に溢れた研究を選んだ。最前線の研究は未踏の分野なので、成功は約束されていないが、熱意をもって楽しく研究をし、面白い発見をして欲しい」と助成者を激励しました。

さらに基礎科学（酵母）の阪井康能選考委員長も「酵母分野には 31 件の応募があり、申請内容はまさに研究への熱意を伝えるものであった。採択された研究者には熱意をもって新しい生理現象を発見して欲しい」と挨拶しました。

続いて渡邊雄一郎東京大学総合文化研究科名誉教授を講師に迎えた創発セミナー（別途報告）と、9 人の各研究助成者から助成への謝辞を交えた自己紹介と研究テーマの簡潔な説明がありました。セミナー後には懇親会があり、午後 8 時に一連の行事を終えました。

公益財団法人 大隅基礎科学創成財団
理事 大谷 清

第 8 期（2024 年度）第 4 回創発セミナー講演

「植物のライフスタイルを変えるマイクロ RNA」

東京大学総合文化研究科 名誉教授

大隅基礎科学創成財団 評議員 渡邊 雄一郎

■講演要旨■

動かないことが特徴としてみえる植物であるが、生育環境の変化に対応しながら状況に応じて生き方を変える。陸上植物の進化の上で基部に位置するとされるゼニゴケからも、陸上植物間で共通のマイクロ RNA(miRNA)が見出された。その中から栄養成長から生殖成長への移行に関与する miRNA、無性生殖に相当する無性芽の形成を促す miRNA を紹介する。

(講演部分は 10 分 30 秒後から始まります。)

講演内容は財団の YouTube をご覧ください。

動画 URL: <https://youtu.be/HwOr-tMbkt0>

■渡邊雄一郎氏の略歴■

1985 年 10 月 日本学術振興会特別研究員

1986 年 3 月 東京大学理学系研究科生物化学専攻博士課程修了 (理学博士)

同年 4 月 東京大学理学部生物化学科助手

1990 年 4 月 帝京大学工学部バイオサイエンス学科助教授

1997 年 4 月 東京大学大学院総合文化研究科助教授

2006 年 11 月 同教授

2024 年 3 月 定年退職 現在に至る。

(役職) 東京大学名誉教授, 大隅基礎科学創成財団評議員, 日本科学協会理事, 東京財団政策研究所評議員



以上